

日米医学医療交流財団 医学部夏期集中医学英語研修プログラム助成

研修報告書 (2014年度 助成者)

作成日 2014年8月22日

氏名	石原 優里 (いしはらゆうり)
研修先機関名	<u>Hawaii Tokai International College</u>
研修期間	2014年8月13日(水)～8月20日(水)
大学名	日本医科大学
学年	5年

1週間の研修期間を経て、**case presentation** や **Medical English** を学ぶだけでなく、ハワイの病院の見学や他大学の学生との交流ができ、刺激的な経験が多くありました。

私が日本で通う大学の授業では、英語で問診をとったり、プレゼンテーションをする機会はほとんどなく、今回のプログラムで練習することができ、大変貴重な経験でありました。1週間の研修期間はとてもあっという間でしたが、短期間に集中して取り組むことで、最初にできなかったことやうまくいかなかったこと毎日練習し、改善させることができ、最終的には初日と比べて成長することができたと思います。**Medical ethics** でのディスカッションでは、他の学生の意見を聞くことで、新たな発見が多くありました。同じ医師を目指す人でも、それぞれの考え方に個性があり、様々な意見をもっていることを実感しました。

また、ハワイで実際に働いていらっしゃる医師の方のお話も聞くことができました。日本で働くこととの違いや、苦勞する点、メリット、デメリットなどを直接聞くことができました。将来自分が海外で医師として働くために必要なことや、計画の仕方を教えていただきました。

私がこの1週間で得た一番大きなことは、他の大学の学生と交流できたことです。モチベーションが高い他の学生と交流することによって多くの刺激を受けました。自分ももっともっと積極的に勉強し、将来のことをしっかりと考えなくてはいけないことを痛感しました。そして、日本だけでなくハワイ大学の学生からも刺激を受けました。国は違っていても、将来医師を目指していることは同じであり、共感し合えることも多い一方で、ハワイと日本での教育や勉強の仕方に違いがあり、興味深いものでした。

この1週間の研修で得たものは本当にたくさんあり、この1週間で解決するものではなく、これから学び続けることでさらに大きな意味をもつと思います。これから先、自分が医師となる上で、今回経験させて頂いたものを活かして、これからも学びたいと思いました。今回、私が何一つ不自由なく、1週間過ごせたのは、このプログラムに関わってくださった、全ての先生、学生のおかげであります。日米医学医療交流財団様に助成していただき、このプログラムに参加できたことに本当に感謝しております。ありがとうございました。